

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	南浦保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人京都府保育協会		

平成 25 年 2 月 21 日

総 評	<p>南浦保育園は、「森の哲学者であり叡智を象徴」する「みみずく」をシンボルとし、園庭には、くすの木を中心に実を付ける木々を植樹し、園舎内は木の素材を豊富に使い、ぬくもりとやすらぎの場である保育環境が整備され、子どもが自発的に活動できる工夫が随所に施されています。</p> <p>一時預り保育・障害児保育・延長保育に加え、分園事業・放課後児童健全育成事業(学童保育)を行い、地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われています。</p> <p>保育目標である「生きぬく力の基礎を持った子ども」を育てるため、自分で自分の身を守り、事故を防ぎ、回避性を高める能力を身につけるアクティブセーフティを重視し、乳幼児より「36の基本動作」の習得に基づいた運動あそびを導入し、平衡感覚を培う活動が行われています。また、自然に親しみ、自然の不思議さや美しさ、動・植物に親しみ、探究心や好奇心を引出し「科学する心」を育てる取り組みがなされています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの運動機能を高める取り組みに重点を置き、長距離の散歩など体力作りに努めています。給食についても、栄養士・調理師と連携をとり、和食を中心に良質の素材を吟味し工夫を凝らしています。おやつについてもすべて手作りで子どもの栄養状態を考え十分な配慮がなされています。 ・乳児のトイレには、下痢・嘔吐などの際に、二次感染を防ぐため、除菌効果をもった電解次亜水生成機が設置されており、感染対策に備えられています。 ・冬場のおしりふきとして、冷えを感じさせない「ホットルベビー(あたたかいウエットティッシュ)」の使用など、細かい配慮がみられます。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修に関する姿勢を明示し、積極的に研修に参加していますが、職員一人ひとりの研修計画に基づき、研修成果の評価・分析を行い、次の研修計画に反映されるとなお良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	南浦保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成25年2月21日(木)

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・「法人理念」「保育理念」や「保育基本方針」「保育目標」が、各部屋の掲示物・毎月の「えんだより」などに謳われ、職員や利用者をはじめ、園見学を訪れた人へも周知されています。

・保育課程の編成や見直しは、職員全員で取り組み、定期的に見直しが行われています。また、参観日などを利用して、保護者にも周知されています。

・「生きぬく力」を育てることを保育目標に掲げ、「感動できる体験」「体力が保育の基本」という管理者の強い思いを日々の保育に取り入れる工夫（冬季の徹底した薄着、野鳥の会とのバードウォッチング、調理の煮炊きに至るまで、全てを自分たちでするお泊り保育など）が実践されています。

・耐震対策の一環として、補強用の柱が各部屋に入っていますが、その柱やできた空間を利用し、園児用ロッカーや花台などに有効利用し、落ち着いた部屋作りが行われています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

- ・管理者は、様々な研修や会議に出席し、福祉や保育に対する動向の把握に努めるとともに、その情報を職員会議等で共有しています。
- ・保育サービスの質を確保するための具体的なプランを確立するため、職員との個別懇談を年二回行い、職員の就業状況や意向を把握し、必要に応じ改善される仕組みが整備されています。
- ・職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示し、研修計画が策定されていますが、一人ひとりの研修報告を次の研修計画に反映されるとなおいでしょう。
- ・保育環境に配慮し、園長自ら遊具や建築の専門家と共に園庭遊具の設計や部屋の増築など、計画に基づき具体的に取り組みが行われています。
- ・中高生の保育体験を、次世代育成の一環として職員の理解のもと積極的に取り入れています。
- ・ボランティアの受け入れに対し、意義・方針を明文化したマニュアルを整備し、職員に周知されています。
- ・関係機関と連携を図り、放課後児童健全育成事業（学童保育）・一時預り保育・延長保育に加え、分園を設置し、地域の福祉ニーズに基づく活動が行われています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・利用者のプライバシー保護に関する規定・マニュアルを整備し、苦情解決の仕組みが確立されています。また、アンケートの実施や意見箱を設置するなど、保護者の意見に対し迅速に対応出来るよう努めています。

・第三者評価二回目の受診に際し、管理者を中心として職員の参画のもと、改善と見直しが図られています。また、個々の職員が定期的にチェックできる自己評価表があり、保育の質の向上に反映されています。

・園児管理システムを導入し、園児に関する記録の管理が確立され、全職員がその記録を共有し、保育課程に基づき年間指導計画を策定しています。また、短期指導計画は毎月評価・反省が行われています。

・保育サービスの提供について、ホームページ・入園のしおりにより情報を提供すると共に、随時見学を受け入れ説明が行われています。保育の開始にあたり、保護者に対して入園説明会で、保育サービス・料金などについてわかりやすく説明し同意を得ています。

・卒園時に、保護者に対し、その後の相談方法や担当者について説明し、文書を渡しています。また、転園に関しては、保護者の同意のもとに転園先に情報提供が行われています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

- ・パソコン入力による園管理システムを活用し、その日の登降園の伝達や健康状態などが全職員に周知できる体制が確立されています。
- ・食事は子どもたちの食べる量や好き嫌いを把握し、給食会議で栄養士・調理師と連携をとり、和食を中心とした食材を取り入れ工夫を凝らしています。おやつにおいても、すべて手作りで子どもの栄養状態を考えて十分な配慮がなされています。アレルギー児の対応においては、子どもの症状に応じて除去食や代替食を提供しています。
- ・保育においては、「36の基本動作」の習得に基づいた運動あそびの導入や、保育室内に子どもたちが自由に選んで遊べる玩具があるなど子どもの自主性を尊重した配慮がなされています。
- ・一人ひとりの健康状態の把握を十分に行った上で、寒さに負けない薄着の習慣と、長距離の散歩など、強い身体作りを目指しています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・個別懇談は、幼児と乳児でそれぞれ機会を設けており、それ以外の日においても、随時、保護者と共通理解を得るための機会が十分に行われています。また、保護者懇談会においても、保育園側の考えや思いを園長自らが保護者に伝えています。
- ・子どものそれぞれの状態を定期的に観察し、気になる様子があれば、保護者と連携を図りながら、関係機関と連絡を取る体制が整っています。
- ・保育所と小学校が隣接しており、常に子どもたちが小学校に遊びに行ける環境があり、小学生との交流も十分にとられています。また、書類に関してもわかりやすく整備されています。
- ・静かで過ごしやすい環境の中に一時保育室があり、東日本大震災による被災者の子どもたちも多く受け入れられ、ゆとりのある空間で職員の子どもたちへの温かい関わりがあります。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・食中毒菌などに対して優れた除菌効果をもった電解次亜水が活用されており、二次感染を防ぐための感染症対策において配慮されています。
- ・園庭の遊具を使用する前に、夜露を毎回拭き取るなど子どもたちを事故から身を守る体制があり、徹底されています。
- ・事故や災害の発生時に備えて発電機やスミスライト「ポータブル可動型照明装置」などの必要な用具を設置するだけでなく、職員においても十分な訓練を定期的に行っています。
- ・不審者の侵入に備えて、様々な防犯用品が準備されており、各保育室には事務所に通じる通報ボタンを設置し、警察に通報できる連絡体制が確立されています。